

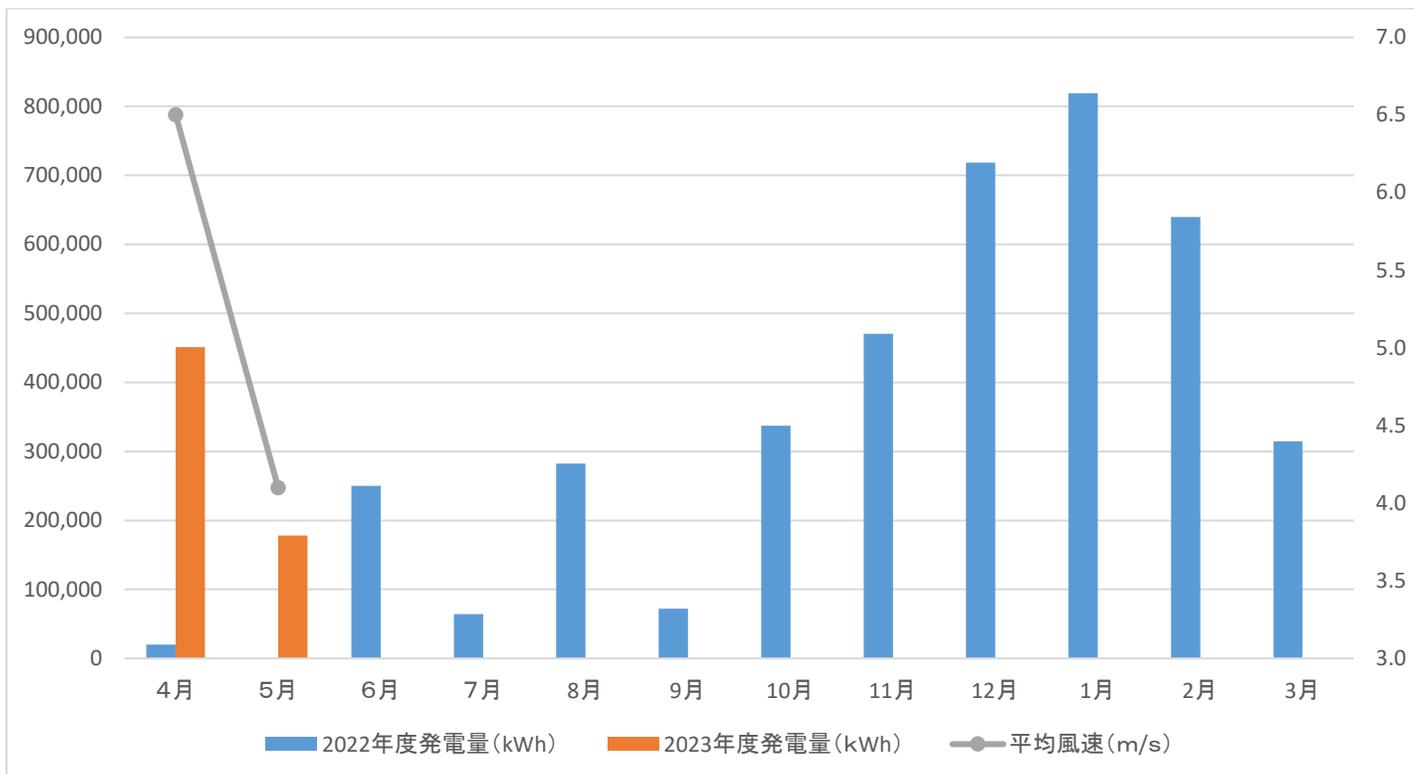
秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 3-4-14FORCAST 人形町 PLACE8 階

一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩（代表理事） 編集責任者 鈴木伸予

○ 2023 年度発電実績



5 月度運転状況について

- 風況は前年同月に比べ1.4m/s低くなり、発電量は計画比73.9%となりました。
- 前年は増速機交換工事をしていたため発電量は0となっています。
- 11.0年次点検を実施しました。
- 5/3は、8:00～16:00まで国の優先給電ルールに基づく出力制御の指示を受け停止しました。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	451,057	6.5	31.5
5月	177,890	4.1	97.6
6月			
7月			
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

グリーンファンド秋田社員総会報告

5月26日、第15期定時社員総会を生活クラブエナジーの会議室で開催しました。

社員6者(生活クラブ東京・増田和美理事長、生活クラブ神奈川・佐野めぐみ副理事長、生活クラブ埼玉・石井清美理事長、生活クラブ千葉・福住洋美理事長、北海道グリーンファンド・鈴木亨理事長、市民風力発電・滝本しのぶ取締役)の出席と、役員(生活クラブ神奈川・半澤彰浩専務理事、生活クラブ東京・大石冬刀常勤理事、生活クラブ埼玉・須長雅和専務理事、生活クラブ千葉・山崎倫一常務理事、生活クラブ神奈川・加藤稔常勤理事)の出席がありました。

第1号議案 2022年度(第15期)事業活動報告

2022年度は増速機交換工事を実施した為、総発電量は3,988,038kWhと、この間の平均の4,730,000kWhを下回りました。にかほ市との交流企画は、組合員リーダーツアー、事務局リーダー研修、デポー担当者研修、デポーにかほフェア生産者来所、すべてをリアルで実施することができました。

監査報告を加藤監事より報告いただきました。

第2号議案 2023年度(第16期)事業活動方針

生活クラブ風車は今期で稼働12年目を迎えます。(株)市民風力発電と連携し、丁寧な点検、運転管理をすすめます。秋田県にかほ市の地域脱炭素実現に向けた計画づくりの推進や、交流事業、夢風ブランド品の共同購入事業をすすめます。生活クラブ神奈川の組合員と(株)飛良泉本舗で「純米大吟醸夢風」の再開発を実施します。また、院内風力発電のスタートに合わせて、夢風10周年記念イベントの検討をすすめることを確認しました。

第3号議案 役員を選任

理事の改選期と監事の辞任があり、以下の新たな役員が選出されました。

理事 生活クラブ生活協同組合・東京常勤理事 大石冬刀、生活クラブ生活協同組合・神奈川専務理事 半澤彰浩、生活クラブ生活協同組合・埼玉専務理事 須長雅和、生活クラブ生活協同組合・千葉常務理事 山崎倫一、非営利活動法人北海道グリーンファンド理事長 鈴木亨、株式会社市民風力発電取締役 滝本しのぶ

監事 生活クラブ生活協同組合・神奈川常勤理事 竹内剛史、株式会社市民風力発電 開発部技術担当部長 奥原正好

総会后、臨時理事会が開催され、引き続き生活クラブ神奈川の代表理事に半澤彰浩理事が選任されました。



事務局リーダー研修会報告

6月9日、10日に秋田県にかほ市と山形県遊佐町で事務局リーダー研修を開催しました。毎年、秋に実施していた研修ですが、でんきのキャンペーン活動に活かすため今年は時期を早めて6月に実施しました。

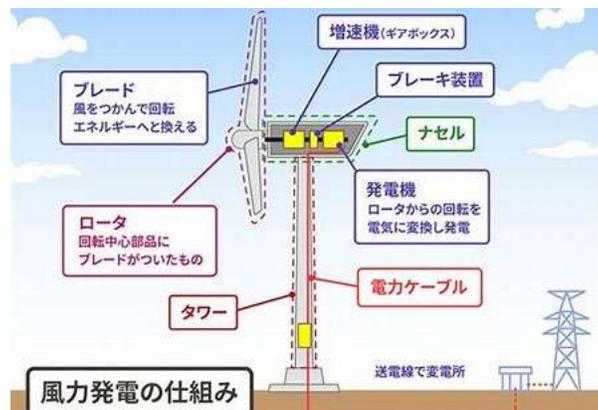
また、首都圏4単協以外の単協にも参加を呼びかけ、福祉クラブ、茨城、山梨、長野、都市生活、連合会より参加があり、総勢24名で開催しました。

1日目は、まず、にかほ市芹田地区に建つ生活クラブ風車「夢風」の見学をしました。

市民風力発電より生活クラブ風車の発電方法やタワー内部の説明をいただきました。その後、参加者代表としてジャンケンで勝った、長野単協の小林遼平さんが地上80mのナセルに昇りました。



2列目右端:市民風力発電の坂本さん、後列右端高橋さん



つづいて、夢風の土地を借用している芹田自治会の会館で、自治会長の渡邊京一さん、元会長の荒川定敏さんより、ご挨拶を頂き、風車や生活クラブに対する地元の受け止め方などお話を伺い、半澤彰浩専務から「生活クラブでんきのめざすこと」というテーマで学習会を行いました。

最後に、にかほ市役所象潟本庁舎を訪問しました。企画調整部長の須田美奈さんご対応いただき、にかほ市の魅力について映像を交えてご紹介いただきました。

2日目は、にかほ院内風力発電の建設予定地を見学しました。夢風は海沿いに建っていますが、院内の建設予定地はにかほ高原に向かう中腹の標高300mぐらいにあります。現在はまだ雑木林ですが、来春には工事が始まります。参加者からは、樹をきって開発してしまう事は良くないのではと思っていたが、一部の環境ではなく、再生可能エネルギーを増やすことで気候危機という大きな環境問題を解決する必要性を理解したとの意見がありました。

つづいて、伊藤製麺所の工場見学を行いました。伊藤さんの丁寧な麺づくりのお話を聞き、夢風ブランド「タラメン」への想いをお聞きました。

午後からは、山形県遊佐町へ移動し、JA庄内みどり遊佐の金子敏富農課長より生活クラブとの提携の歴史と遊YOU米の特徴についてお話を伺いました。つづいて、遊佐町共同開発米部会の今野修会長はじめ生産者の方々から参加者からの事前質問に丁寧にお答えいただき、意見交換を行いました。



2列目左から2人目渡邊会長、3人目荒川元会長



右端:今野会長



つづいて圃場の見学を行いました。生活クラブ神奈川の遊佐・たんぼクラブの実践圃場とアイガモロボットを使った無農薬圃場を見学しました。アイガモロボットは、庄内自然エネルギー発電基金より、今年、助成されたものです。

最後に、庄内・遊佐太陽光発電を見学しました。発電所の保守管理をしている㈱CSSの菅原善悦さんより、敷地面積約31ヘクタール、年間発電量17,800MWh(約5,700世帯分)など発電所の規模や、建設前の様子などの説明をお伺いしました。また、電線の盗難防止のために、出入り口に大きな車止めが設置されていました。



前列右端:菅原善悦さん

参加者からは、「風車「夢風」に迫力と感動を感じたことと、何よりも現地の方のあたたかさのお陰で充実した研修となりました。」「風車が地元の分裂を生むものではなかったことに安堵したと同時に、そのような丁寧な合意プロセスこそ、建設してからの長い年月、交流事業や夢風ブランド等を通じた経済効果などの様々な発電以上の価値を生み出す原動力となると感じた。」など報告を頂きました。

かしこい省エネに取り組みましょう

家庭で使用するエネルギーの50%が「電気」です。電気料金の値上げもあり、電気使用量の削減とCO2排出削減の為に、かしこい省エネに取り組んでみませんか。

夏の冷房時には窓から73%の熱が入ってきます。窓の断熱をすすめると、夏の冷房効率や、冬の暖房効率も高まります。窓の断熱には、工事も1日と短く、費用も比較的安い内窓の設置がおすすめです。現在、「先進的窓リノベ事業(住宅の断熱性能向上のための先進的設備導入促進事業等【経済産業省・環境省】(1,000億円))」を活用すると設置費用の1/2の補助が受けられます。是非、検討をしてみてください。

また、家庭の中で一番電気を使う家電は冷蔵庫です。冷蔵庫は2011年から2021年の10年で比較して39%~46%の省エネになっています。一般的に家電の寿命は10年とされています。冷蔵庫の買い替えを検討する時には、是非、省エネタイプを選ぶと、CO2削減と電気代もお得になります。

